

第 8 回一般社団法人日本放射線看護学会学術集会ご案内

テーマ： 一原発事故から 8 年—

すべての人々の Well-Being をめざす放射線看護

会 期： 2019 年 9 月 28 日(土)、29 日(日)

会 場： コラッセ福島

〒960-8053 福島市三河南町 1-20



このたび、福島市で第 8 回日本放射線看護学会学術集会を上記のテーマと日程で開催させていただきます。テーマの「Well-Being」には原発事故後に避難した方々を含め、すべての人々の幸せに貢献できる学術集会にしたいとの願いをこめました。

東京電力福島第一原子力発電所事故から 8 年がたちましたが避難指示が解除されていない地域がまだ残っています。避難解除された地域では徐々に住民の帰還が進んでおりますが、帰還された方々の大半は高齢者が占めており、帰還率も依然として厳しい状況にあります。また、岩手、宮城と比べ、突出して震災関連死が多く、命を脅かす心の傷や重度のストレスを抱える人々の数が上回っています。長期避難により壊れてしまった地域社会の再生は大変なことです。この地域の復興はこれからです。また、帰還された方々の中には、自ら助けを求めない方々もおられアウトリーチが必要です。今後も、引き続き心と体の健康を支えていくとrikumiが求められています。

このような中で、帰還された方々が主体となる生活と地域を立て直す多くの活動が展開されています。そこで、本学術集会では福島姿を知って頂くために、原発事故の周辺地の復興ツアーや公開講座、シンポジウム及び最新の医療現場のトピックスや交流集会などを企画し、復興をめざし現地で活動されてきた多数の方々にご登壇して頂きたいと考えて準備を進めております。

福島県は、美しい自然と歴史と伝統の中で豊かな文化が育まれてきました。本学術集会の開催時期にはおいしいくだものが収穫されます。もちろん、日本一の日本酒や和洋菓子などの食も堪能して頂けます。福島を楽しみながら、福島の現況を直にご覧頂きたいと思っております。皆様のお越しを心からお待ち申しあげております。

2019 年 3 月吉日

第 8 回一般社団法人日本放射線看護学会学術集会

会長 末永 カツ子 (福島県立医科大学大学院)

プログラム

第1日 2019年9月28日(土) 9:30~17:00 (受付9:00~)

- **基調講演**
テーマ : 「人々と向き合う放射線看護」
演者 : 草間 朋子 (日本放射線看護学会理事長、東京医療保健大学)
- **特別講演**
テーマ : 「放射線看護への期待」
演者 : 竹之下 誠一 (福島県立医科大学 理事長)
- **特別講演**
テーマ : 「放射線事故災害における医療者の役割; 福島第一原子力発電所事故の経験を踏まえて」
演者 : 谷川 攻一 (福島県立医科大学 副理事長)
- **メインシンポジウム**
テーマ : 「原発事故から8年; すべての人々の Well-Being をめざす放射線看護」
- **シンポジウム**
テーマ : 「東京電力福島第一原子力発電所事故急性期; 何が問題だったのか」

その他教育講演、医療現場のトピックス、一般演題(口演・示説)、交流集会、ランチョンセミナーなど

第2日 2019年9月29日(日) 10:00~16:00 (開場9:30~)

- **市民公開講座** 本講座は参加の方は無料です
テーマ : 「美しい歌声を全ての人々へ」
演者 : 歌手 ナターシャ・グジー (Nataliya Gudziy) : ウクライナ出身
- **シンポジウム**
テーマ : 「Well-Being に向けたリスクコミュニケーションと協働活動」
- **シンポジウム**
テーマ : 「原発事故によって避難を経験した南相馬市の保健活動; 最前線の保健師・看護師が伝えたいこと」
- **教育講演**
テーマ : 医療現場のトピックス「PET/MRI でできること」
演者 : 伊藤 浩 (福島県立医科大学 放射線医学講座 教授)
- **教育講演**
テーマ : 「福島の先人、瓜生イワに学ぶ; 明治期の災害救済活動を中心に」
演者 : 日下 純子 (公立小松大学保健医療学部看護学科)

その他教育講演、医療現場のトピックス、一般演題(口演・示説)、交流集会など

参加申込み

1) 参加申込み方法

学術集会ホームページ上のオンライン登録（URL； <http://plaza.umin.ac.jp/~rnsj8/>）で受け付けます。事前参加登録は、2019年4月1日～7月31日までです。事前参加登録は、参加費の振込みをもって登録完了となります。

2) 参加費

種別	事前参加費	当日参加費
会員	9,000 円	10,000 円
非会員	10,000 円	11,000 円
学生（大学院生除く）	3,000 円 *学生は当日受付にて「学生証」を提示ください	

会員で事前参加申込みをされる場合は会員番号が必要です。

3) 参加費の払い込み方法

事前参加登録の際に、振込み方法の案内がございますので、そちらをご確認のうえ、期日までにお支払いください。一度お支払いいただいた参加費はご返却できません。

演題発表申込み(一般演題および交流集会)

1) 演題発表申込み方法

学術集会ホームページ上のオンライン登録で受け付けます。一般演題（口演、示説）登録は、2019年4月1日～5月31日までです。交流集会登録は、2019年4月1日～5月6日までです。

2) 演題申込資格

発表者は一般社団法人日本放射線看護学会の会員または会員申込み中の方に限ります。（共同研究者は非会員でも可能）。演題申込み時、学会員でない発表者は、演題申込みと同時に学会入会手続きをお願い致します。

懇親会

- 1) 日 時：2019年9月28日（土）18：00開始
- 2) 場 所：ザ・セレクトン福島（〒960-8068 福島県福島市太田町 13-73）
会場（コラッセ福島）より徒歩5分
- 3) 代 金：6,000円
- 4) 申込み方法：学術集会ホームページ上のオンライン登録で受け付けます。

福島復興視察ツアーについて

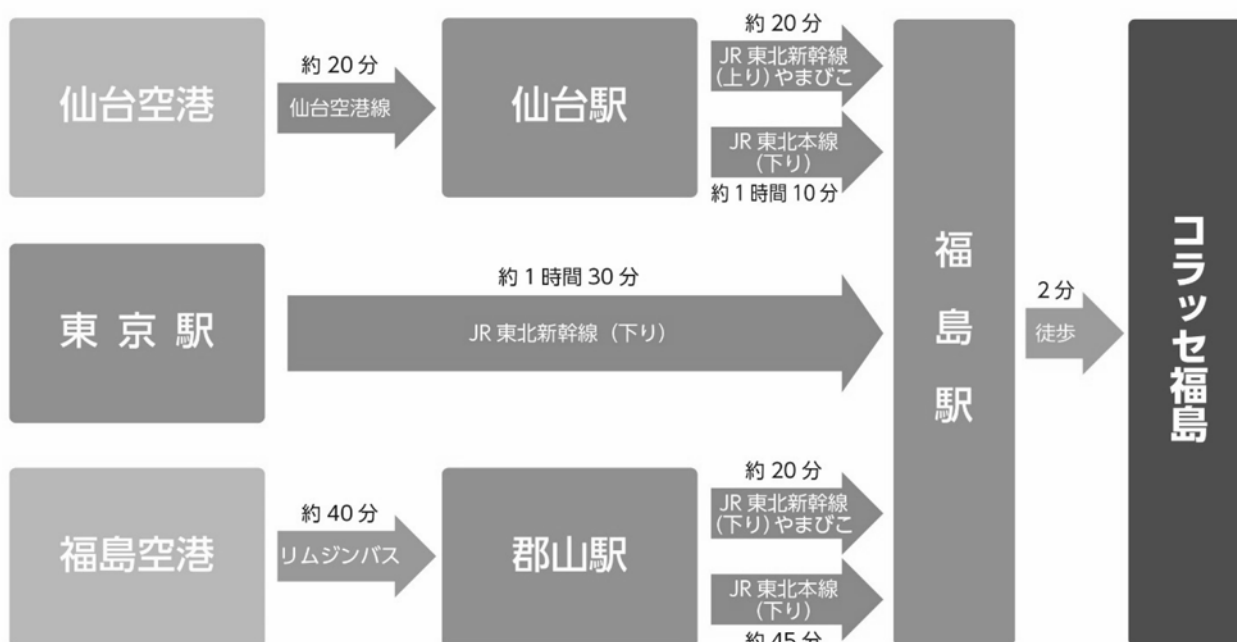
- 1) 開催日時 : 2019年9月27日(金) 9:20 福島駅西口集合(予定)
- 2) ツアーコースは2通りあります。どちらかを選択して参加いただきます。

Aコース: 福島第1原子力発電所廃炉現場 (25名募集)

Bコース: 大熊町の中間貯蔵施設を中心とした被災地視察 (25名募集)

- 3) 申込み方法: 学術集会ホームページの福島復興視察ツアーに関する専用ページから申し込みできます。申込者は、日本放射線看護学会会員で事前参加登録者のみとさせていただきます。(募集期間は、2019年4月1日~8月31日)
- 4) 費用その他: 学術集会ホームページ上でご確認ください。

会場へのアクセス



空港からお越しの方

仙台空港から→仙台駅経由 JR 利用/約1時間~1時間30分

福島空港から→郡山駅経由 JR 利用/約1時間~1時間30分

新幹線でお越しの方

東京駅より/約1時間30分

仙台駅より/約20分

お車でお越しの方

東北自動車道福島西 I.C より/約15分

仙台宮城 I.C より/約60分

飯坂 I.C より/約20分

●問い合わせ先

日本放射線看護学会第8回学術集会事務局
福島県立医科大学大学院災害公衆衛生看護学講座
〒960-1295 福島市光が丘1

●日本放射線看護学会学術集会ヘルプデスク

rnsj-desk@bunken.co.jp

URL: <http://plaza.umin.ac.jp/~rnsj8/>